決算特別委員会の審査報告

決算特別委員会（井上薫委員長、小林喜代司副委員長、井上公、奥西伊佐男、奥村良太、河本隆志、喜多英男、櫻井立志、南部登志子、水野恭子委員の10人）は10月9日、17日、20日、29日、11月4日、5日、7日の7日間委員会を開会し、9月定例会に付託された平成19年度京田辺市一般会計決算認定についてなど9件の審査を行いました。

審査は各部局別に、質疑を行い、最終日には、5会派による総括審査の後、決算認定案をすべて可決しました。審査の主な質疑は次のとおり。

市民・保健福祉

問　小規模多機能委託介護施設が2カ所整備されているが、利用状況は。

健康介護課長　リエゾン健康村は、定員25人中20人と登録が比較的順調であるが、三山木ふれあいの里は定員25人中15人と登録が少ない状況。

問　福祉センターは利用者が大変多い中で老朽化が進んでいるが、今後の見通しは。

社会福祉課長　今後、廃止に向けた方向で進めていきたい。

問　税の共同化で滞納整理組合が解散した場合、職員はどうなるのか。

市民部参事　滞納整理組合の職員に何らかの保障はしなければならないと考えている。

問　姉妹都市及び国際交流の提携が必要と考えるがどうか。

市民参画課長　実際の交流にいくらお金がかかるのか、どんな利点や問題点があるのかという情報収集はしている。

問　地域生活支援事業の利用実績を踏まえ、来年度以降の方向性をどのように検討されるのか。

社会福祉課長　障害福祉計画の中間見直しで策定委員会で10月にアンケートを実施した。利用方法、希望等を十分把握した中で近隣市町との均衡も考慮に入れ、見直しを検討したい。

問　市税が8億円増加したが、増収の原因は。

税務課長　市民税では、65歳以上の非課税者の定率減税廃止と税源移譲により、3%、5%、13%の3段階の税率が一律10%となり、6億円増加した。固定資産税では、毎年の増改築及び宅地造成が2億円の増収につながったと考えている。

問　コンビニ納税について現在の進捗状況は。

収納対策室統括主幹　平成22年度4月開始をメドに、現在は先進地の情報を収集している状況である。

問　子宮ガン検診は、20歳代で1年おきの検診になったが、受診率をどう予想されているのか。

健康介護課長　受診率については、当然下がると考えているので、継続受診を働きかけていきたい。

問　ファミリーサポートセンター事業の利用者数は、増えているのか。

こども福祉課長　総数からすると平成18年度が2703件で、平成19年度が2693件であることからほぼ横ばいである。

問　緊急通報装置の設置台数は、平成19年度で406台だが平成17年度からの設置台数はどうか。

健康介護課長　平成17年度350台で、毎年40～50台増えている状況。

問　くらしの資金貸付制度は年2回の実施だが、いつでも借りられる制度にできない理由は。

社会福祉課長　貸付金額5万円で随時受け付けしている生活更生資金制度があることから、年2回で実施している。

階段昇降機が設置された三山木福祉会館

市長公室・安心まちづくり室・総務・消防等

問　自主防災組織の育成と併せて消防団OBの方の活用が必要と考えるが市の考えは。

消防総務課長　経験豊富な消防団OBによる支援隊の年内発足に向け、隊員を募集中である。現在47人の登録申請を受け付けている。

問　平成19年度に行われた事務事業評価の結果は。

企画管理課長　362の事務事業について本格的な評価を実施し、事業の検証を行ったところ、全体の83%で改善が進んでいる結果となった。

問　自主防災組織育成助成金として72万9000円の支出があるが、本市の各区・自治会でどのくらいの自主防災組織ができているのか。

消防本部参事　現在、15組織できているが、そのうち平成19年度については9団体に助成を行ったところである。

問　インターネットの目的外使用のあった医療情報用PCを今後規制する考えは。

消防総務課長　医療情報の検索のみに利用し、インターネットの部分を全て削除していきたいと考えている。また、併せて使用簿を作り利用状況を把握しつつ、閲覧履歴についても、必ず所属長が確認するということで対応したいと考えている。

問　超過勤務の多い職員で年間、何時間ぐらいあるのか。

職員課長　1000時間を超えている職員が2人、900時間台で5人、800時間台で5人と合計12人が800時間以上である。

問　山手幹線薪工区において、バス停留所が用意されているが、実際にバスを運行される計画はないのか。

安心まちづくり室担当課長　バス停留所は、バス会社、地元協議の中で3カ所設けている。バス会社に文書で運行の要望は出しているが、現時点では難しい状況である。

問　車検費用において0円入札はあったのか。

総務部参事　本年度10月に実施した車検の入札については、点検費用及び最低限必要な修理も含めての形をとったため、ある程度の入札価格を提示していただいている。

問　AEDを3カ年で36カ所設置すると聞いているが予定は。

安心まちづくり室担当課長　今年度については小学校7校と中学校3校に、次年度については、保育所、幼稚園関係12カ所に設置予定。その他施設については、各所属で対応をお願いしている。

問　特に大住地域、田辺地域等で自転車通勤の方が多いが、駐輪場の増設や移設の予定は。

安心まちづくり室担当課長　JR大住駅の駐輪場が手狭になっているため、NEXCO西日本に高架下を貸してもらえるよう現在交渉している。

設置がすすむＡＥＤ（市役所）

経済環境・水道等

問　近隣市町における水道料金に係る消費税の取り扱いはどうか。

水道部副部長　府内では、本市と京丹後市を除く市町で外税方式で税を徴収されている状況である。

問　燃料や肥料の高騰対策として、農家への補てん等の考えは。

農政課長　何よりも農産物のコストを下げることが重要であり、直接、農家に補てんするのは難しいと考えている。

問　府内での本市の水道料金の状況はどうか。

経営管理室担当課長　順位としては、13市町中、下から4番目に安い料金であり、一般家庭用60㌧当たり8100円となっている。

問　蛍光灯のリサイクルについての市の方向性は。

経済環境部副部長　ごみ処理基本計画の中で単独の分別収集を検討することになっている。また、蛍光管の割れによる水銀の飛散等安全度を見据えた中で拠点回収できるか検討したい。

問　耕作放棄地を利用していただけるようなシステムづくりに積極的に取り組む必要があると考えるが、計画はあるのか。

農政課長　インターネット上で空き地情報を公開する農地バンクシステムなどを利用して農地の流動化を促進しているが、完全に耕作放棄地がなくなるところまでは至っていない。

問　観光マップの有効活用についてはどうか。

産業振興課長　観光マップについては、平成19年度に全面リニューアル

（9面につづく）

新設された観光案内板を視察
（松井山手駅）

平成19年度会計別決算収支状況

（単位：円）

会計別		歳入決算額①	歳出決算額②	差引額（③＝①－②）	翌年度繰越額④	実質収支額（⑤＝③－④）
一般会計		19,877,739,766	19,677,176,660	200,563,106	101,884,000	98,679,106
特別会計		14,785,110,569	14,706,703,942	78,406,627	28,000,000	50,406,627
内訳	松井財産区	6,861,984	6,792,448	69,536	0	69,536
	老人保健	4,107,303,069	4,107,270,829	32,240	0	32,240
	国民健康保険	5,318,866,195	5,312,271,782	6,594,413	0	6,594,413
	休日応急診療所	21,367,240	20,630,100	737,140	0	737,140
	公共下水道事業	3,049,614,196	3,019,523,572	30,090,624	28,000,000	2,090,624
	農業集落排水事業	52,737,869	52,653,217	84,652	0	84,652
	介護保険	2,228,360,016	2,187,561,994	40,798,022	0	40,798,022
合計		34,662,850,335	34,383,880,602	278,969,733	129,884,000	149,085,733

○翌年度繰越：平成19年度にできなかった事業を翌年度に繰り越し、事業をおこなうもの。
○実質収支：平成19年度の収入と支出の実質的な差額。市の純剰余又は純損失を意味するもの。